

2月末日現在の土岐市の人口を
64,418人として

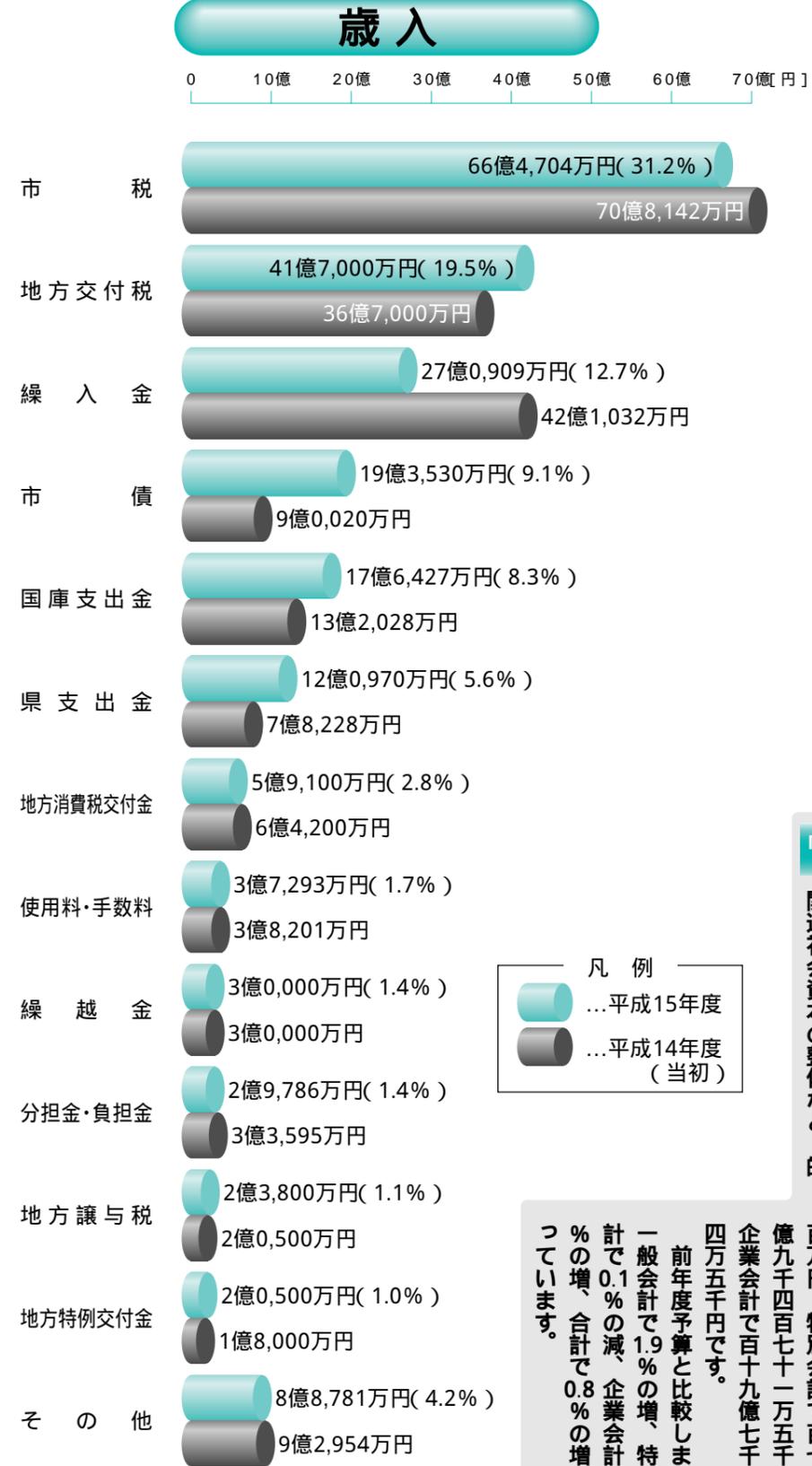
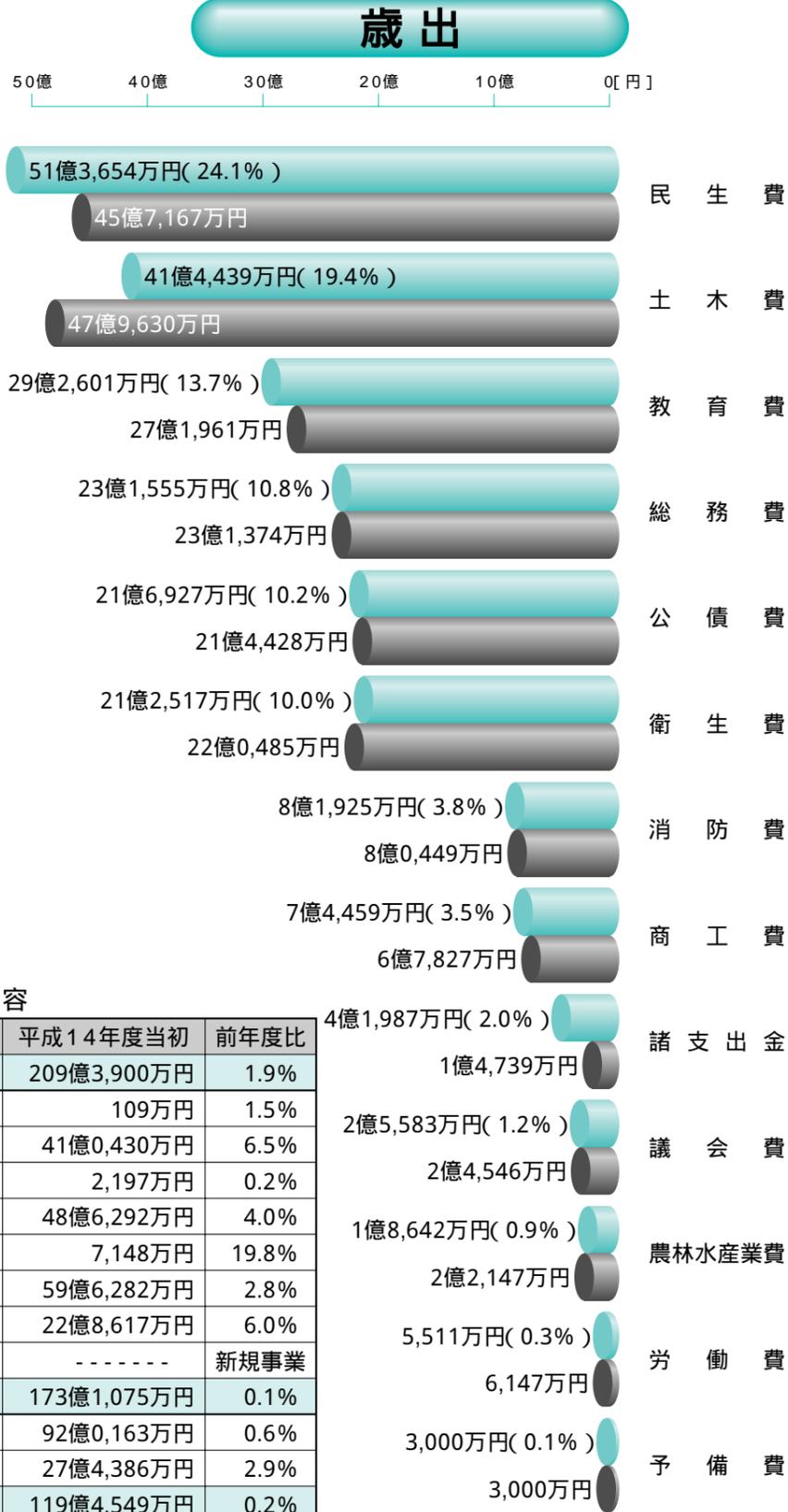
市民一人当たりで計算すると...

市税負担額	使われる 一般会計予算
市民税(個人分) 31,542円	民生費 79,738円
固定資産税 49,589円	土木費 64,336円
都市計画税 8,240円	教育費 45,422円
たばこ税 4,871円	総務費 35,946円
軽自動車税 1,429円	衛生費 32,990円
その他 7,515円	その他 72,656円
合計 103,186円	合計 331,088円

一般会計予算

213億2,800万円の内訳

()内は構成比



総額で約506億円を計上

平成15年度予算

平成15年度会計別当初予算の内容

会計名	平成15年度当初	平成14年度当初	前年度比
一般会計	213億2,800万円	209億3,900万円	1.9%
特別会計			
曾木地区市有林管理	108万円	109万円	1.5%
下水道事業	38億3,940万円	41億0,430万円	6.5%
交通災害共済	2,192万円	2,197万円	0.2%
国民健康保険	50億5,895万円	48億6,292万円	4.0%
自動車駐車場	8,563万円	7,148万円	19.8%
老人保健	57億9,765万円	59億6,282万円	2.8%
介護保険	24億2,323万円	22億8,617万円	6.0%
農業集落排水事業	6,686万円	-----	新規事業
計	172億9,472万円	173億1,075万円	0.1%
企業会計			
病院事業	91億4,781万円	92億0,163万円	0.6%
水道事業	28億2,273万円	27億4,386万円	2.9%
計	119億7,054万円	119億4,549万円	0.2%
合計	505億9,326万円	501億9,524万円	0.8%

端数処理の関係上、一部数字が合わない場合もあります。

「交流大地・土岐」を目指して

本市の平成十五年度当初予算は、景気の低迷などによって、市税収入見込みが前年度より大きく下回るような厳しい現状を踏まえ、いかに最小の経費で最大の事業効果をもたらすかを念頭に置いて編成しました。

少子・高齢化への対応、情報共有化への取り組み、生活関連社会資本の整備などの

確な事業選択を行って、市民生活に直結した諸施策を着実に推進するとともに、二十一世紀を切り拓く「小さな世界都市」ともいうべき「交流大地・土岐」を目指していきます。

予算総額は、五百五億九千三百二十六万円で、内訳は、一般会計で二百十三億二千八百九千四百七十一万五千円、特別会計で百七十二億九千四百七十一万五千円、企業会計で百九十九億七千五百四十五万五千円です。

前年度予算と比較しますと、一般会計で1.9%の増、特別会計で0.1%の減、企業会計で0.2%の増、合計で0.8%の増となっています。

凡例

● ...平成15年度

● ...平成14年度(当初)

まちづくりの5つの柱別に見る

今年度の主な事業

その1. 交流大地・土岐の形成を支える都市基盤づくり

1. 市域全体を対象とする整備・開発および保全の方針の明確化
土地利用対策 1億9,606万円
＜地籍調査事業、土地利用計画事業＞
2. 多様な性格を有する拠点づくりの推進
土岐市駅周辺地区の整備 1,504万円
＜都市基盤整備事業＞
健康増進施設拠点の整備 2,495万円
＜健康増進施設整備事業＞
3. 総合交通体系と情報通信基盤の整備
道路網の整備 8億9,701万円
＜街路整備事業、橋梁維持事業、道路改良事業など＞
公共交通の整備 3,591万円
＜バス路線整備事業＞
情報通信基盤の整備 3,158万円
＜地域情報化事業＞
4. 公園・緑地の体系的な整備
公園・緑地の体系的整備 1億7,543万円
＜公園整備事業、織部の里整備事業など＞
5. 供給処理施設の整備
上水道の整備 6億6,244万円
＜上水道事業＞
下水道の整備 12億7,356万円
＜下水道事業＞

その2. 次代を支える人と環境と新しい風土づくり

1. 全市一体となった研究学園都市づくりの推進
企業育成の強化 131万円
＜企業育成事業＞
2. 地域にいきる人づくりの推進
生涯学習機能の強化 3億9,320万円
＜生涯学習基盤事業、生涯学習推進事業＞
スポーツ振興基盤の充実 2,244万円
＜スポーツ振興事業＞
学校教育の充実 5億3,291万円
＜教育指導事業、小学校整備事業など＞
3. 交流大地・土岐を体現できる土岐文化の醸成と国際化への対応
文化、芸術活動の振興 1億4,608万円
＜ふるさと創生事業、文化プラザ自主事業など＞
国際交流の推進 313万円
＜国際交流事業＞
4. 保健・医療・福祉の連携による安心と生きがいのまちづくりの推進
健康管理体制の充実 7,133万円
＜健康診査事業＞
医療体制の充実 3億1,009万円
＜病院施設整備事業＞
医療費の助成 9,453万円
＜福祉医療費助成事業＞
社会福祉の充実 39億2,151万円
＜介護保険事業、身体障害者福祉事業など＞
児童福祉の充実 6億5,364万円
＜保育所事業、児童手当事業、児童扶養手当事業など＞

展示ロビーなどの機能を併せ持つ施設を建設し、文化と歴史のあるまちづくりを推進します。

小学校低学年のきめ細かな指導支援事業
1,050万円

小学校一年生のークラスが三十五人を超える学校に、担任の指導助手として講師を配置し、基本的な生活習慣、人間関係、社会生活のルールを身に付けることができるよう、個々に応じたよりきめ細かな指導を支援します。

小学校改築事業
2億2,099万円

妻木小学校のプール改築を行うとともに、児童の健康管理に配慮し、プールサイドに日よけを設置します。

平成十六年度に改築予定の泉小学校では、実施設計委託などを開始します。

健康診査事業
7,133万円

急速に進展する高齢化、生活環境の変化は、市民の健康に大きな影響を与えています。このため、疾病の予防に重

乳幼児医療費事業
8,185万円

二月一日からの制度改正で、小学校入学前のお子さんの外来・入院の医療費自己負担分が、すべて窓口無料となりました（県外の医療機関の場合

点を置く、各種の健康診査事業を実施しています。

今年度から、最近急激に増加している前立腺がん検診を、市内の医療機関で実施します。五十歳以上の男性が対象で、受診料五百円で検査を受けることができます。

保育所整備事業
2億8,431万円

社会環境の変化に伴う保育ニーズの多様化に対応するため、妻木地区の「妻木保育園」と「ききよう保育園」を統合し、「(仮称)つまぎ保育園」を建設します。

は、いったん窓口でお支払いいただき、後日申請によってお返しします。

安心して子どもを産み、育てることができるよう、引き続き支援します。



(仮称)つまぎ保育園のイメージ図

地籍調査事業
1億8,356万円

市街地を中心に、八・七五kmを対象地区として、前年度に引き続き地籍調査を実施します。

この調査は、国土調査法に基づき、日本の国土を正確に記録するために行う土地の基礎調査で、公共事業の円滑化

(仮称)クアハウス曾木建設事業
2,495万円

かつてない高齢社会を迎え、心身ともに健康で、ゆとりのある福祉社会の実現が重要な課題です。

そこで、健康増進施設整備として、曾木温泉を活用した「(仮称)クアハウス曾木」の建設に向けて、地質調査や

バス路線整備事業
3,509万円

市民バスは、昨年十月から新たに三路線を加え、百円で運行を開始しました。車いすの方も乗降できるノーステップバス「織部号」などが、運行に加わっています。

引き続き、市民の皆さんの足として、より利便性の高いバス交通の構築を目指し、本市のバス路線網の再編を検討していきます。



移設する「暮雪庵」

妻木公民館建設事業
3億8,295万円

市民一人ひとりが常に自発的な学習に努め、生涯にわたって充実した人生を送るための生涯学習の拠点施設として、特色ある公民館の整備、充実を図っています。

今年度、妻木地区に、従来の公民館機能に加え、展示場

その1

交流大地・土岐の形成を支える都市基盤づくり

所有者間のトラブル防止、課税の適正化、災害復旧などに活用できます。

また、社会資本整備の基礎データにもなります。

新土岐津線推進事業
1,237万円

泉町のJR土岐市駅から永久橋間の都市計画道路(新土岐津線)について、幅員十六mの街路整備を目指します。

また、事業への理解を深めていただくため、駅前地区に事務室を開設します。



建設予定地近くの曾木公園

織部の里整備事業
3,536万円

歴史的・学術的に価値の高い文化遺産を、市民の財産として保存・保護し、後世に伝えるため、また美濃焼の歴史・文化発信拠点として、国指定史跡「元屋敷陶器窯跡」を中心に「織部の里公園」の整備を進めてきました。

この公園の一角に、松坂屋創業家の伊藤家から寄贈していただきました茶室「暮雪庵」を移設します。

その2

次代を支える人と環境と新しい風土づくり

市民一人ひとりが常に自発的な学習に努め、生涯にわたって充実した人生を送るための生涯学習の拠点施設として、特色ある公民館の整備、充実を図っています。

今年度、妻木地区に、従来の公民館機能に加え、展示場

今年度は「5本の柱に沿った主な事業概要」

5本の柱に沿った主な事業概要

その3. 人と地球にやさしく、ゆとり・うるおいを享受できる快適で安全な都市空間づくり

- 1. 快適な居住空間の実現
 - 公的住宅の質的向上 662万円
 - <市営住宅補修事業>
- 2. 環境衛生の向上と賢い消費者の育成
 - リサイクル活動の支援 3,211万円
 - <リサイクル推進事業>
- 3. 環境にやさしい安全なまちづくりの推進
 - 危険箇所防止対策 8,000万円
 - <急傾斜地整備事業>
 - 防災体制の確立 9,294万円
 - <防災・地震対策事業>
 - 環境対策の強化 3億6,003万円
 - <衛生対策事業、環境対策事業>
 - 消防・救急体制の整備・強化 8,593万円
 - <消防施設整備事業>
 - 交通安全施設の整備 1,806万円
 - <交通安全施設整備事業>
- 4. 環境共生型のシステムとデザインの構築
 - 豊かな自然と共生する新たな拠点づくり 1,201万円
 - <花の都運動推進事業>

行政の改革
1億5,653万円
土岐市新行政改革大綱に基づき、改革を推進しています

行政の改革
1億5,653万円
土岐市新行政改革大綱に基づき、改革を推進しています

その4. 豊かな新時代の創造に寄与する産業づくり

- 1. 強靱で活力ある陶磁器産業の育成
 - 陶磁器産業の体質強化 4,504万円
 - <産業観光拠点づくり事業>
 - 美濃焼の魅力化・PR 3,105万円
 - <美濃焼PR推進事業>
- 2. 消費喚起型の商業空間の形成と競争力のある商業・観光産業の育成
 - 商店街の活性化 4,779万円
 - <商店街活性化事業>
 - 観光産業の振興 5,100万円
 - <道の駅整備事業>
 - 観光産業の育成 2,179万円
 - <観光PR推進事業>
- 3. 農業・林業の育成
 - 農業の育成 2,755万円
 - <農業育成事業>
 - 林業の育成 642万円
 - <林業育成事業、造林保育事業>

行政の改革
1億5,653万円
土岐市新行政改革大綱に基づき、改革を推進しています

行政の改革
1億5,653万円
土岐市新行政改革大綱に基づき、改革を推進しています

その5. 地域社会の連携に基づく共生型の都市づくり

- 1. 効率的・積極的な都市経営の推進
 - 健全な施設運営 805万円
 - <効率的施設運営事業>
- 2. 市民と共に考える市政づくり
 - 広聴活動の推進 847万円
 - <議会会議録検索システム導入事業、夢実現化事業など>
- 3. 活力あるコミュニティの形成
 - コミュニティ活動の支援 2,610万円
 - <コミュニティ支援事業>
- 4. 行政の改革
 - 効果的・効率的な行政運営 1億5,653万円
 - <戸籍総合システム・ブックレス導入事業など>

その他
緊急雇用対策事業 2,494万円

行政の改革
1億5,653万円
土岐市新行政改革大綱に基づき、改革を推進しています

行政の改革
1億5,653万円
土岐市新行政改革大綱に基づき、改革を推進しています

その他

緊急雇用創出特別対策事業
2,494万円
雇用機会の創出のため、児童・生徒の学校生活の適応指導と、きめ細かな指導を支援するための学校支援事業を実施します。また、昭和六十二年度に発掘調査を行った長嶽一・二号竪穴からの出土遺物の整理事業、平成二年度に発掘調査を行った下石田竪穴からの出土遺物整理事業のほか、市内の独居老人や身体障害者の方などを災害から守るための住居家具等固定事業も実施します。

消防施設整備事業
8,593万円
市民生活や、まちの安全性の向上を図るためには、防災施設の整備が重要です。防火水槽の整備をはじめとして、消防団員が集まれる中

美濃焼PR事業
3,105万円
食文化を豊かにする願いを込めて、美濃焼テーブルコーディネートイベントを開催するほか、テーブルウェアフェスティバル美濃焼出展支援、東京インターナショナルギフトショー美濃焼出展支援を行います。

道の駅「(仮称)志野・織部」建設事業
5,100万円
産業観光の北の拠点と位置付け、市内では一番目の道の駅として、国道二十一号沿い

農業育成事業
2,755万円
農業をめぐる情勢は、後継者不足、生産調整のための体質改善など、諸問題を抱えています。

男女共同参画事業
1,255万円
「男は仕事、女は家庭」に

東海地震対策事業
9,294万円
東海地震などの大規模災害に備え、市庁舎、小・中学校の耐震診断をはじめ、防災対策を推進して、市民の皆さんの安全確保に努めます。

その4. 豊かな新時代の創造に寄与する産業づくり

食卓用食器としての美濃焼の魅力を見つけていただくとともに、景気低迷に苦しむ業界の活性化に努めます。

そこで、堆肥利用組合の発足を期に、安全な食材の提供と「スローフード」の普及などを視野に入れ、農業の中核的担い手を育成します。

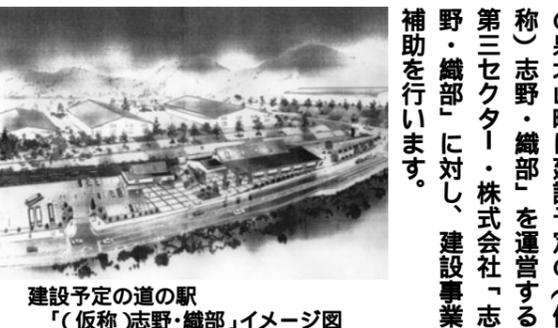
新規事業として、議会会議録を土岐市ホームページ上に掲載し、議会での過去の発言内容が容易に検索できる「議会会議録検索システム」を導入します。

その3. 人と地球にやさしく、ゆとり・うるおいを享受できる快適で安全な都市空間づくり



3月末に完成した泉分団中核拠点施設

核拠点施設を、泉地区に続き、駄知地区に整備するため、実設計委託などを行います。



建設予定の道の駅「(仮称)志野・織部」イメージ図

その5. 地域社会の連携に基づく共生型の都市づくり

議会会議録検索システム導入事業
1,998万円
本市では、まちづくりへの市民参加を促進するために、広報活動として「広報とき」をはじめ、インターネットなどによる情報提供を行っています。